



こ ゆう しゅ 固有種のマーチ



固有種のマーチプロジェクトってなに？

固有種とは、特定の国や地域にしかいない生き物のこと。

コアラも固有種の一つです。

このプロジェクトは、世界中にいるユニークで愛らしい固有種たちを通して、人も動物も植物も、みんながそれぞれ「個性」を持つすばらしさと、「多様性」とはどういうことなのか？に目を向けてもらうきっかけを作りたい、という思いでスタートしました。

多様性ってなんだか大きな話で、あまり実感がわかない。

多様性が大事なことはなんとなくわかるけど、僕らはどうすればいいの？

良く聞くけど実はつかみどころのない「多様性」について

みんなでおいしく楽しく考えていくプロジェクトです。

＼固有種のマーチ特設ページ／



固有種のマーチ オーストラリア編の販売

★ **コアラのマーチ**のシェアパック
&
オーストラリアの固有種こゆうしゅが学べるゲームまなのセット!



※商品のデザインは予告なく変わる可能性があります。

オーストラリアの固有種こゆうしゅたちをしょうかいご紹介

コアラ  なまえ ゆらい かわいい名前の由来は あず 「水をまない」	カンガルー  ひるま ねむ じかん 昼間は眠たい時間だよ ゆづが あ 夕方に会いにきてね	ウォンバット  コアラのなかまで しゆく うんちが四角!?	エミュー  まえ すず 前にしが進めない せんしん 前進あるのみ!
カモノハシ  じつ ぶく 実は毒があるぞ! ちようごつかんと クチバシは超高感度	クオッカワラビー  あご きんにく 顎の筋肉がしっかりしてるよ あが 笑顔がチャームポイント!	タスマニアデビル  あか こまつだい 赤ちゃんは米粒大だけど か ちから せかいじ 噛む力は世界一!?	フクロアライクイ  アライクイじゃないけど す ア리가好き!
フクロネコ  かんちが ネコと間違えられて ネコになりました	モロクトカゲ  せんしん 全身のトゲは水が しぜん あつ ぼく 自然と集まる優れたもの!	ミナガバンディクート  ちか すあな 地下2mの巣穴で か 暮らしているよ	ワライカワセミ  ウワハハ! ひと ぼく 人じゃないよ僕だよ!



固有種のマーチ 日本編の販売

★
★

ゴアラのマーチのシェアパック & 日本の固有種が学べるカレンダー のセット!

にほん こゆうしゅ まな
日本の固有種が学べるカレンダー

LOTTE
固有種のマーチ
日本編

チョコレート

8個入り

2025
CALENDAR

固有種マーチ

み ちか に ほん こ ゆう しゅ しょうかい
身近な日本の固有種たちをご紹介

<p>ニホンザル</p> <p>さむ へいき ゆき 寒いところでも平気! 雪あそびを おんせん 湯に して温泉で温まるよ</p>	<p>キジ</p> <p>はで いろ 派手な色で メスにアピールするよ</p>	<p>ニホンカモシカ</p> <p>シカとついているけど ウシのなかまだよ</p>	<p>ムササビ</p> <p>き 木から木へと飛び移る さらさら 空を 空飛ぶ布団!?</p>
<p>ニホンイシガメ</p> <p>かむ に お釜に似てるから ゼニガメともよばれるよ</p>	<p>オオサンショウウオ</p> <p>まむな ちん ちん 町中にも現れる せかいでいちばん ながい 世界最大級の両生類</p>	<p>メダカ</p> <p>め たか 目が高いところにあるから 「メダカ」なんだよ</p>	<p>サワガニ</p> <p>じつはめずらしい! たんまり 汁 淡水で一生涯をくらすカニ</p>
<p>ワサビ</p> <p>な はな 菜の花のなかまで カラシとも混ぜせき!?</p>	<p>ヤマザクラ</p> <p>えど じだいはなみ い 江戸時代 花魁と言えは ヤマザクラ</p>	<p>ニホンミツバチ</p> <p>みんなで協力して スズメバチともたたかうよ!</p>	<p>ゲンジボタル</p> <p>おしりをピカピカ光らせ プロポーズ!</p>



固有種の探検隊 in 金沢動物園の実施



固有種の探検隊 in サンシャイン水族館の実施



固有種の探検隊 in 東山動植物園の実施





固有種のマチ
プレゼント

固有種の教室とは？

多様性という言葉が普段の生活の中でもよく聞かれるようになりましたが
実際、自分達は具体的に何をすれば良いのかわからなかったり
話が大きくて身近に感じなかったり
生物多様性、人の多様性、この二つが切り離された認識をされていたり
まだまだ自分達の行動が変わるような状態には程遠い状態だと感じています

固有種のマーチプロジェクトでは
この教室を通して、科目の垣根を越えて
そんな多様性について、生物の進化から、人の個性の重要性まで
包括的に理解を促すことを目指しています

教室の流れ

1回目

多様性のススメ

生物はどうやって進化してきたのか？

生物多様性ってそもそも
どういうことなのか？

-
- ・ 進化体験ゲーム
 - ・ 五箇先生の授業
 - ↳ 生物多様性とは？・・・
 - ↳ 生物多様性の危機
 - ↳ 生物多様性の逆襲と人間社会の危機
 - ↳ 自然共生社会へ向けて

10月31日（木）
5,6時間目

2回目

多様性のカンサツ

住んでいる街を
観察して、
街の多様性マップを
つくろう

-
- ・ ワークショップ

11月14日（木）
5,6時間目

3回目

多様性のシテン

わたしも固有種
自分自身を再発見！

人間社会の多様性とは？

-
- ・ ワークショップ
 - ↳ 個性光るキャッチコピーを考える
 - ・ 五箇先生の授業
 - ↳ 人間社会の多様性

11月22日（金）
5,6時間目





特別講師

五箇公一（ごか・こういち）

国立環境研究所
生物・生態系環境研究センター
生態リスク評価・対策研究室 室長

1990年、京都大学大学院修士課程修了。同年宇部興産株式会社入社。
1996年、博士号取得。同年12月から国立環境研究所に転じ、
現在は生態リスク評価・対策研究室室長。
専門は保全生態学、農薬科学、ダニ学。
ヒアリなどの外来生物防除、ネオニコチノイド農薬などの
農薬リスク管理、および新型コロナを含む人獣共通感染症対策など、
様々な生態リスク研究を通じて、
生物多様性と人間社会の関わり方および持続性について模索している。
著書に『クワガタムシが語る生物多様性』（集英社）、
『終わりなき侵略者との闘い~増え続ける外来生物』（小学館）、
『これからの時代を生き抜くための生物学入門』（辰巳出版）など。
国や自治体の政策にかかる多数の委員会および
大学の非常勤講師を勤めるとともに、
テレビや新聞などメディアを通じて環境科学の普及啓発に力を入れている。

・タイムスケジュール（13時10分～14時45分）

13:10
13:20

授業について、固有種のマーチについて（担任教員金子先生+ロッセ金田さん）

13:20

1：進化体験ゲーム

説明しながら1回目スタート
合計2回行う

13:55

13:55
14:00

休憩

14:00
14:40

2：五箇先生による授業

- └生物多様性とは？・・・
- └生物多様性の危機
- └生物多様性の逆襲と人間社会の危機
- └自然共生社会へ向けて

14:40
14:45

次回に向けてのお知らせと終わりのあいさつ



その1

多様性のススメ

生物進化のしくみと
多様性ってどういうこと？

10月31日（木）
5,6時間目

13



当日の様子 / 進化体験ゲーム

・いわゆる伝言ゲームです。伝言で起こるエラーが進化の過程で起こるDNAエラーになぞらえて体験しました。



当日の様子 / 五箇先生の座学

- ・ 進化の過程から、自然共生社会と生物多様性の重要性、地域に目を向けた持続的社会的形成まで学びました



< 1回目の授業後の生徒の感想 >

- ・ 人それぞれに多様性があることが分かった。（LGBTQ授業と関係していると思った）お絵描きリレーをして、人それぞれに感じ方があることを知って面白かった。外来種が増えているということは知っていたが、外来種がこんなに日本に持ち込まれて、固有種が危害を受けていることに驚いた。人間社会を持続させるためには、まず、自分が何をすべきなのかを普段の生活から見直そうと思った
- ・ 多様性は人が生きるために必要なものなので、外国に頼りすぎず日本国内、各地域でエネルギーの供給を完結させることが大切だと思った。そのためには、各地域ですたれてしまった第一次産業を復活させることや各地域に頼りすぎている東京でエネルギーを生産することが大切だと思った。
- ・ 地球は、進化をして行っている。恐竜の絶滅がなかったら今の人間社会がないないということが深く分かったコピーミスがあるときにそれが新しい生物の誕生になるということが分かった。
- ・ 生き物は進化していくうちに形などが変わって行って今の人間や動物ができていてそれもまだ進化の途中だということ。地球や人間の誕生、植物の誕生などは奇跡が起きて作られたということ。
- ・ 生命はみんな奇跡に奇跡を重ねてできた尊いもので、最初は、鳥も、海のおいものも、私達が食べている牛も、人間も最初は同じものだということが分かった。だから、人間が牛を食べすぎたら牛がいなくなるからいけないし食べ過ぎなくても人間が死んでしまうから、人間と動物は『ちょっとづつ』の関係性を保つことが大切だと思う
- ・ 今まで、「進化」と聞いたら生物が新しい環境で生きていけるように変わるものだと思っていたけど、進化ゲームやその後の話で、「進化」はDNAのコピーミスが原因だけどその時の環境とあっていないと残れないと知って驚きました。勘違いしていたことや知れなかったことが知れて良かったです。

その2

多様性のカンサツ

千駄ヶ谷を観察して
地域の「固有性」をみつけよう！

11月14日（木）
5,6時間目

16



・今日の流れ

1:10
1:20

1 : ワークショップの説明 & チーム分け

1:20
1:35

2 : カードをマップに貼っていこう。

1:35
1:55

3 : マップを見ながら千駄ヶ谷の特徴を書き出そう

1:55
2:00

休憩

2:00
2:15

4 : 特徴やカードを参考に千駄ヶ谷の街にキャッチコピーをつけよう
「人間にとって 自然・生き物にとって」の2つ

2:15
2:35

5 : 発表 (1チーム3分)

2:35
2:45

6 : 終わりの挨拶 & 宿題



中目黒の場合

1: 書いてきたカードをマップに貼る

カード

<景色>

- ・目黒川
- ・自然の川じゃない
- ・街の真ん中にある
- ・川の横を歩くのときもちい
- ・川のそばは陽気な雰囲気がある

カード

<植物>

- ・目黒川の桜並木
- ・春になるとたくさんの花が咲く
- ・道路が花びらだらけになる
- ・春は人がたくさん集まったのしように散歩してる

カード

<遊び>

- ・居酒屋さんがたくさんある
- ・中目黒の駅前
- ・いろいろな国の料理やお酒がたのしめる
- ・夜になると変な人がたくさんいる

カード

<生き物>

- ・アオダイショウ
- ・ビルとビルの間から出てきた
- ・2mくらいの大きさ

カード

<仕事>

- ・料理を仕事にする人
- ・駅前に飲食店がたくさんあるから

中目黒の場合

2：地図を見ながらこの地域の特徴を書き出そう

<景色>

- ・目黒川
- ・自然の川じゃない
- ・街の真ん中にある
- ・川の横を歩くのときもちい
- ・川のそばは陽気な雰囲気がある

人がよく集まる

川に魚がいない

桜が名物

<植物>

- ・目黒川の桜並木
- ・春になるとたくさんの花が咲く
- ・道路が花びらだらけになる
- ・春は人がたくさん集まったのしように散歩してる

いろいろな人種の人があざりあってる

<生き物>

- ・アオダイショウ
- ・ビルとビルの隙間から出てきた
- ・2mくらいの大きさ

動物がすみにくい

自然が少ない

<遊び>

- ・居酒屋さんがたくさんある
- ・中目黒の駅前
- ・いろいろな国の料理やお酒がたのしめる
- ・夜になると変な人がたくさんいる

残飯がたくさんでる

お酒くさい

子供はすくない

<仕事>

- ・料理を仕事にする人
- ・駅前に飲食店がたくさんあるから



中目黒の場合 3：「人間にとって」と「自然・生き物にとって」 どんな街なのかを考えよう

<景色>

- ・目黒川
- ・自然の川じゃない
- ・街の真ん中にある
- ・川の横を歩くのときもちい
- ・川のそばは陽気な雰囲気がある

人がよく集まる

川に魚がいない

桜が名物

**いろいろな人種の人
がまざりあってる**

動物がすみにくい

自然が少ない

<生き物>

- ・アオダイショウ
- ・ビルとビルの間から出てきた
- ・2mくらいの大きさ

<遊び>

- ・居酒屋さんがたくさんある
- ・中目黒の駅前
- ・いろいろな国の料理やお酒がたのしめる
- ・夜になると変な人がたくさんいる

**残飯が
たくさん
でる**

お酒くさい

**子供は
すくない**

<仕事>

- ・料理を仕事にする人
- ・駅前に飲食店がたくさんあるから

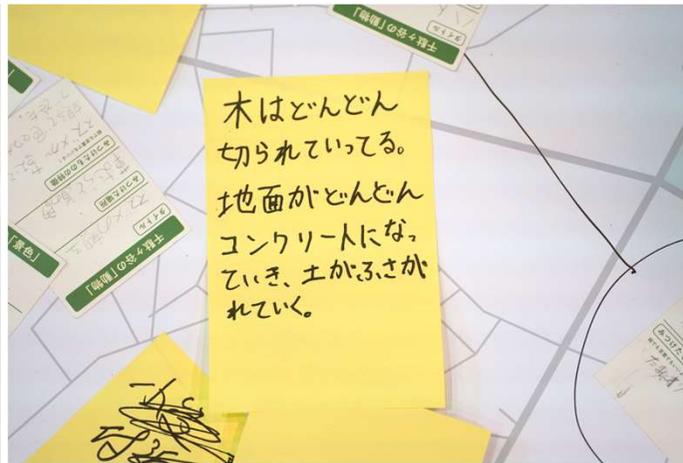
<人間にとってどんな街？>
お酒好きの大人達が集まる陽気な街

<自然・動物にとってどんな街？>
自然は少ないけど人間の食べ残しが
たくさん食べれて助かる街



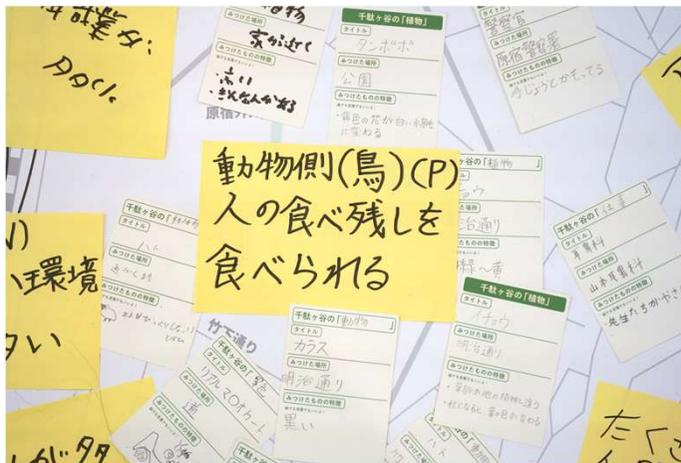
当日の様子 / 地域の多様性マップの制作

- ・自分の街を観察し、地域にどんな特徴があるのかを観察しました。
- ・最後に人間視点と生物・植物視点で見た時の街の特徴を発表し、その違いを認識しました。



当日の様子 / 地域の多様性マップの制作

- ・自分の街を観察し、地域にどんな特徴があるのかを観察しました。
- ・最後に人間視点と生物・植物視点で見た時の街の特徴を発表し、その違いを認識しました。



<2回目の授業後の生徒の感想>

- ・街は人だけではなく、動植物も共に生きているということを実感した。また、これから人と自然が永遠に共存していけるようにするためには、私たち人間が動物、植物を様々な視点でみて、そこからどうしたら人にとっても、動物にとっても住みやすい街になるのかを考えることだと思った。
- ・千駄ヶ谷の良いところや、自然や環境に対してなど、いろいろの意見がはなし合われて、いろんな人の意見を共有することが大切だと感じた。
- ・今日は私たちの住む千駄ヶ谷の様子や景色・植物・動物・遊びを地図にみんなで書き出して、千駄ヶ谷の地域の良さがとてもよく分かりました。周りのグループの意見を聞いてみると、自分の考えがより深まりました。自分の考えにとられすぎずにみんなの意見に耳をむけることがこの学習で大切だと思いました。
- ・人間にとってはいいことと動物にとってはいいことの二つの視点で見られた。いつも人間側だから人間のネガティブ視点とポジティブ視点は知っていたけれど動物側で考えてみると普通の日常を命がけで戦っていたり人間の作る建物によって鳥は留まりずらいから生きづらいなど動物にとってどんな生活を送っているのか改めて考えられたし、大変なんだと思った。だから、動物の気持ちも考える事が大切だなと思った。
- ・いろいろな視点から物事を見ることが大事
- ・今日はちょっと固有種とはかけ離れた授業とって思っていたのですが、自然生き物にとってどのように感じているか視点を考える学習になっていて、自分たちの事だけを考えるのではなく少し視野を広げてみて他の何かからみてみると人間が暮らしやすいと思っていることと、動物たちが住みやすいと思っていることが大きく違って面白かったです。またもう十何年か住んでいる千駄ヶ谷のことをドラえもんポケットみたいになんでもあるところだと改めて知れてよかったです。
- ・チームごとに千駄ヶ谷をどのような街と感じているかがバラバラで新しい視点から千駄ヶ谷を見ることができたし、知れば知るほど千駄ヶ谷が面白いなと思った。

その3

多様性のエッセンス

自然環境だけじゃない
人の固有性も、多様性の大事なエッセンス



・今日の流れ

- 1:10 1：はじめのあいさつ
- 1:10
1:55 2：五箇先生の授業「人の個性と多様性」
- 1:55
2:00 休憩
- 2:00
2:05 3：ワークショップの説明
- 2:05
2:35 4：ワークショップ
- 2:35
2:40 5：五箇先生から
- 2:40
2:45 6：終わりのあいさつ（担任教員+ロツテ）



五箇先生の授業「人の個性と多様性」



五箇公一（ごか・こういち）

国立環境研究所
生物・生態系環境研究センター
生態リスク評価・対策研究室 室長

1990年、京都大学大学院修士課程修了。同年宇部興産株式会社入社。
1996年、博士号取得。同年12月から国立環境研究所に転じ、
現在は生態リスク評価・対策研究室室長。
専門は保全生態学、農薬科学、ダニ学。
ヒアリなどの外来生物防除、ネオニコチノイド農薬などの
農薬リスク管理、および新型コロナを含む人獣共通感染症対策など、
様々な生態リスク研究を通じて、
生物多様性と人間社会の関わり方および持続性について模索している。
著書に『クワガタムシが語る生物多様性』（集英社）、
『終わりなき侵略者との闘い~増え続ける外来生物』（小学館）、
『これからの時代を生き抜くための生物学入門』（辰巳出版）など。
国や自治体の政策にかかる多数の委員会および
大学の非常勤講師を勤めるとともに、
テレビや新聞などメディアを通じて環境科学の普及啓発に力を入れている。

ワークショップ：個性光るキャッチコピーを考えよう！

今日はみなさんは、インタビュアーです。

発表者の良いところを深掘してもらい、

その人にポジティブなキャッチコピーを考えてもらいます。

自分のエッセンスを探そう

名前 _____ クラス _____

自分の性格 ※5つ以上言葉にしよう ※良い所も悪い所も書こう	得意なこと / 興味があること / 好きなこと ※5つ以上
苦手なこと / 嫌なこと ※5つ以上	将来の夢 / やってみたいこと ※いくつでもOK
自分を生き物や、他の何かに例えるなら何？ ※1つでOK	
それはなぜ？	

STEP①

宿題で考えてきた

自分のエッセンスをもとに
自己紹介をしてください。

STEP②

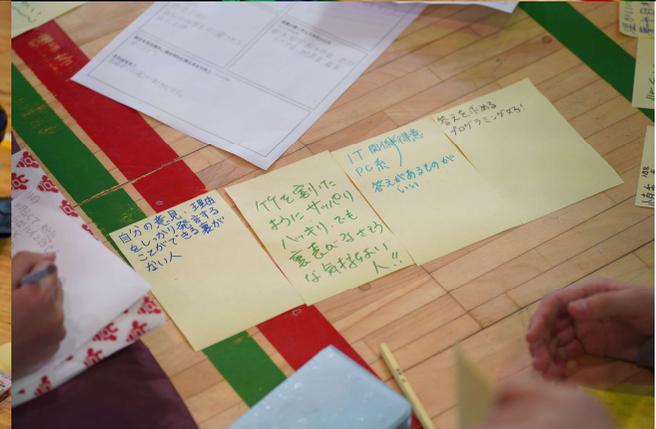
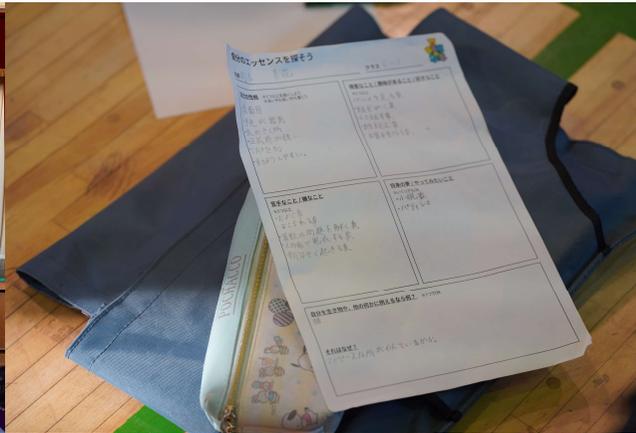
聞いている人は、
自己紹介した人を
取材してください。

STEP③

最後に その人の
良いところを見つけて
どんな人なのか
キャッチコピーを考え
ふせんに書いて渡してください。

当日の様子 / 互いに“個性光るキャッチコピー”をつける

- ・自分の好きなことややりたいことを洗い出し、エッセンスを抽出しました。
- ・グループワークで自己紹介をし、他メンバーはインタビューでエッセンスを掘り下げ、互いの魅力を再発見。最終的にきらりと光る個性を見つけ、互いにキャッチコピーをつけ合うことをしました。



当日の様子 / 互いに“個性光るキャッチコピー”をつける

- ・自分の好きなことややりたいことを洗い出し、エッセンスを抽出しました。
- ・グループワークで自己紹介をし、他メンバーはインタビューでエッセンスを掘り下げ、互いの魅力を再発見。最終的にきらりと光る個性を見つけ、互いにキャッチコピーをつけ合うことをしました。



<3回目の授業後の生徒の感想>

・ウイルスは人間にとって体に悪い菌だけど環境にとっては良い菌

→視点を変えてみるのが大切。

・一人一人の個性を尊重する

・生物多様性を守ることは大切で、今弱い立場にある人も、環境が変われば強くなるかもしれないこと。

・多様性の大切さがよく分かりました。ダニにも、個性があって面白いなと思いました。どんな時も自分の個性、相手の個性を認め、それを尊重する、というのを忘れないようにしようと思いました。固有種のマーチでは、人のキャッチコピーを描くことが楽しかったです！さらに、ほかの人の好きなこと、性格をもっと知ることができてより仲が深まりました！

・人それぞれが個性があって世界に1人だけの大切なものだという事。

・自分のことの自己紹介で自分でわかっていることやほかの人から見た視点もあることが大切だと思った。

全3回の授業を終えて～生徒たちの感想～



・多様性は大切だし、多様性の中にも、（授業で教わったのは、）生物の多様性、人の心の多様性などいろいろあるとわかった。だから個々を尊重できるような人になりたいという目標ができた。

・第1回目は生物多様性についてみんなの個性を知ったり、生命の誕生などを学習しました。グループのみんなで一つの絵を書いてみんな違って一人一人の個性を知れました。生物の誕生なども学習して難しかったですが少し私も知っている言葉なども説明されていて分かりやすく勉強になりました。そして、第2回目は地域の特色を学び、改めてこの千駄ヶ谷について調べて見ると「住みやすいな～」など「少し不便だな～」と感じられてこれからもこの千駄ヶ谷の地域を大切にしたいなと感じられた授業でした。そして第3回目の授業ではダニや多様性について知ることができました。一人一人の好きなこと・苦手なこと・将来の夢についてを知り、仲も深まりお互いのことをもっと知ることができました。ダニも目に見えないし、私たちに害がでる生き物だと思っていましたがダニのことを深く知り、興味がわくようになりました。私にとってとても勉強になる学習でした。ありがとうございました。

・人間それぞれが固有種で個性があるということを学び、意識するようになった。ダニやウイルスなども生物多様性をつくっている大切なものだということに気付いた。鳥にとってはいいことでも、虫にとっては害になることなので、すべての動物が暮らしやすいということは難しいと改めて感じたが、それを解決することが大事なのではないかと思った。

・今までは、ずっと人間の視点からしか生物について考えていなかったから、環境の視点から授業を受けられたから、生物について印象が変わった。

・この授業を受けて、私は相手の見方が変わったと思いました。相手の個性、性格、好きなこと、嫌いなことなどを知ることによって、もっともって仲が深まったように思いました。虫も魚も同じです。見方を変えることによって、「気持ち悪い」とか「嫌い」とかではなく、その生物の個性なんだな、という新しい見方、考えを持つようになりました。本当にこの授業を受けてよかったと思いました。

・固有種というテーマをつなげて最初は絵をつなげて固有種を分かりやすく知ったし、2時間目は街の個性などをカードの宿題で楽しく学べて、3時間目は自分の個性を大事にしたらいんだなと改めて感じました。



固有種のマ-チ